

風人 *F u - Z i n*



第23回

PHOTO 柳田神社の春

# NPO博多の風 フォーラム **報告**

- 10周年記念「数字で振り返るNPO博多の風」
- 開催予定 第9回 博多のおいしゃんと歩こう「追い山笠コース探訪」

## 第24号

平成22年3月発行

第23回

NPO博多の風フォーラム

去る平成21年11月14日、福岡市博多区の博多小学校「表現の舞台」にて第23回NPO博多の風フォーラムを開催しました。第1部では、初の試みとしてKBCの沢田幸二アナウンサーとRKBの富永倫子アナウンサーによる楽文コンテストの全入賞作品の朗読会が行なわれ、子供たちの熱い思い、考え、視点などが会場の皆さんに深々と伝わったと思います。

第2部では、NPO博多の風 副理事長で、春日大野城那珂川消防本部特命監の因幡敏幸氏による「博多火消浅学塾（はかたひけしせんがくのいさおし）」と題した講演が行なわれました。

□消防の組織と課題

11月9日から15日まで全国一斉に「秋の火災予防運動」というものが行われています。火災予防思想の普及と、火災の発生を防止する事を目的として秋と春の2回行なわれていますが、いまいち認知



因幡 敏幸氏(いなば としゆき) NPO博多の風 副理事長 恵比須流 下堅町 春日大野城那珂川消防本部 特命監 昭和25年9月12日生まれ(59歳)

度が低いのが問題です。実は、火災で1日に6人が亡くなっています。皆さんあまり身近に感じていただけないかも知れませんが、意外と起こっていて、残念な事に尊い命が失われています。警察と消防は、同じ組織と

回動しています。みなさんの生活になくはならない、サービスが救急車です。消防の場合は現場に行ったらそこが勝負ですが、救急の場合は、そこにいって終わりではなく、病院に連れて行かなければならない。1台約3500万円の設備の中で医療行為を行なっています。昔は病院で医者しかできなかった仕事なども、救急車の中で行えるようになりまし

最近では、公共施設にもAEDという機械が置いてあり、心臓にショックを与える電圧をかけて、誰でも救命行為をできるようになっています。心肺停止後、3分間ほっておいたら半分、5分間ほっておいたら8割は助かりません。1分1秒を争うんです。機械を開いたら、やり方は書いてあります。ほっといたら死ぬんだから勇気を持ってやって欲しいと思います。

救助(レスキュー)なりたいという若者が沢山いるのもありがたい事です。我々が若い頃はなりたいたい人はいませんでした。今の倍率は20倍ぐらいになっています。体力試験に通ればいいです。他には特に何もいらず、高校卒業程度の学力で大丈夫です。必要な体力は雇ってからです。最初から懸垂200回できる人間なんて、なかなかいませんからね(笑)

□誰にでもできること 誰にでもできることが一つあります。それは、「声をかけること」です。「すぐ来るよ、助かるよ、大丈夫よ」と声をかけること。もつといいのは手を握ること。自分がそうだった場合どうして欲しいかを考えて欲しいと思います。あと、火災は他の災害と違い、大半は皆さんの注意で守れます。地震や津波は

思われがちですが、もともと母体一緒だった組織が昭和22年に新しい法律ができて大きく分けて警察と消防に分かれました。現在、全国の本部数は、警察は47本部で、消防は806本部あります。福岡県には25の消防本部があります。消防の仕事は市町村の仕事になります。水道管・教育・道路、そういったもの一つとして消防課があります。福岡県には約4700人の消防職員がおり、女性はそのうち78名います。

私は春日の職員なんですけど、皆さん側からみれば何処の消防でも同じ様に見えていても、実際は所属が違うと完全に違う組織になります。最近では、「消防がこんなに小さくて良いのか?」ということが問題になっています。小規模の消防本部では、「出動要員に十分な余裕がなく、初動対応も必要最低限」「財政規模が小さく、高度な車両や資材の導入が困難」といった課題が出てきています。顕著な例が、阪神淡路大震災でこの時は、広域消防署がやられてしまったわけですね。その時は、災害に全国の消防署から応援に行っただんですが、初めてのことで、いろいろな問題が起きました。一つ目は消防車の足といます。距離がのびない。なぜ伸びないかという自分達の町の火事・自分の町の災害に対応す

分らないが、火災は皆さんの注意で守れます。起こさないようにするにはできません。最近では、色んな形で救命行為が普及しています。普通救命士の免許を持つていらっしゃる方もいると思いますが、あれは自分のためではないんです。自分が助かるうと思つて、学んでも、自分に応急処置や心臓マッサージなんかできません。私が知つていたら、彼を助けることはできる。彼が知つていたら、私を助けることができる。助かりたかつたら自分も習う。いざれ自分に回つてくると思つて学んで欲しいと思います。

その後最新の消防の組織を紹介したりVTRを見せていただいたり、救急車の管制官の仕事や聞いたことのない、消防の最前線の現場の仕事などを分かりやすく紹介していただきました。さらには、忠臣蔵で有名な浅野内匠頭と火消し装束の云々なども紹介していただき、非常に有意義な時間となりました。

最後に因幡さんが述べられた「消防は遠くにある行政のサービスではなく、非常に近くにあるけれども、現場で皆さんとお会いする機会がないようにしたいと思います。」という言葉が印象的でした。

【立石 奨・中山 肇】

るようになっていきますから、あまり長距離を走ることを想定されていませんでした。それでは足りないということで大規模災害・事故やテロリズムなどにも対応する為、新しい取り組みをしまして緊急消防援助隊というものが、阪神淡路大震災以降に法律が改正され、広域化の計画ができて、現在も取り組んでいます。

□火事の現場

先ほど火災で1日6人が亡くなつていまして、火災の原因で一番多いのは、何かと思いませんか?実は放火なんです。11年間、全国の火災の原因のトップです。火事の現場で原因がなぜわかるのかというと、部屋の真ん中で火が起つたとして、中で炎が燃えたと火に面したところが燃えます。酸化痕といまして、燃えて墨の状態が火に面した処とそうじゃやない処が全く違います。燃えたほうに倒れるんですね。前後左右から真ん中に向かって倒れます。

あと、放火犯はだいたい現場にいます。見たんですけど、「本当に消防車はくるのか?」と見えています。警察の方もそうですが、私たちも現場写真をとります。みなさんも、あまりあちこち火事の現場に行かないようにしてください。私達は「おお、またこの人はおるな」という風

に見えています。「あら、ここにもおるぜ」となるとおおごとです。また、消防では人の命は何よりも尊いと考えています。何10億円の絵画と余命いくばくもない人がいるとして、消防はどちらを助けるか?もちろん、余命いくばくも無い人を迷わず助けます。

□消防の仕事

消防の現場の仕事は消火と救急と救助の3つあります。救急車に乗った事がある方もいらっしゃると思いますが、救急車の出動回数は、全国で約509万件/年で消防の約100倍です。しかも年間約5万件ずつ増えています。高齢化、生活の多様化も進んでいますので、当たり前のことです。福岡市は57000件/年、春日は8500件/年です。全国には救急車が5000台あり、1台が6秒に1



第9回

楽文コンテスト表彰式

平成21年11月14日「第9回祭り童子集まれ 楽文コンテスト」の入賞者の表彰式が行なわれました。受賞作品の発表と、入賞者の表彰があり、最後に毎日新聞西部本社編集局長の伊藤元信氏より、総評をいただきました。

□良い文章とは 私は仕事柄、たくさん文章に接していますが、この楽文コンテストは非常に良い文章が多いと思います。祭りに参加して、汗を流して、祭りを楽しんで、そしてその事が地域を愛することに繋がっているというところがよく分かります。そこに具体的な心の流れが書いてあるから、読む人の心をつつものだと思えます。新聞社の後輩達にも良く言うんですが、具体的に書くことが一番大切です。現場に行つた時には、五感をフル稼働して感じなければいけない。それは何色なのか、天気はどうだったのか、暑かったのか、寒かったのか、甘いのか辛いのか、触つてみたかどうか。それをそのまま文章にすることはなかなか難しいですし、

ある意味無駄な事です。しかし、その一見無駄な事を増してやることになり、是非、そういうことを心掛けて文章を書いてほしいと思いますし、これからも祭りを通じて地域を愛する子供達が増えていくことを願っています。



第23回 博多の風フォーラム

告知

第24回 NPO博多の風フォーラム 開催のご案内

開催日時 平成22年4月17日(土) 開場13:30/開演14:00 開催場所 博多小学校「表現の舞台」

講演 講師：大庭宗一 (NPO博多の風理事長) 演題：『何のために』

# 数字でみる

# NPO 博多の風 10 年の歴史

平成 12 年 5 月に博多の風が NPO として認証をされて、今年の 5 月で 10 年がたちます。  
各事業部会での 10 年間の活動を数字を見ながら振り返ります。(博多の風の設立は平成 10 年 5 月)



## NPO博多の風フォーラム

講演者  
総数 **25**人

平成 10 年 4 月より始まった「NPO 博多の風フォーラム」。毎年春と秋の年 2 回開催し、既に 23 回を数えるまでになりました。会場も第 1 回の毎日福岡会館から、明治安田生命ホール、博多小学校「表現の舞台」へと移しながら開催中。毎回様々な分野で活躍している多彩なゲストを招いての講演では、中々聞けない裏話等も飛び出し、フォーラムを楽しみ待つ人も多いそうです。

### 主な講師 (講演当時の肩書)

- ・松本 龍氏 (衆議院議員)
- ・後藤豊彦氏 (福岡銀行相談役)
- ・後藤久義氏 (博多祇園山笠振興会会長)
- ・永吉和幸氏 (毎日新聞社福岡総局長)
- ・高橋慶彦氏 (元プロ野球広島東洋カープ)
- ・永守良孝氏 (RKB 毎日放送株式会社 取締役)
- ・奥田智子氏 (九州朝日放送アナウンサー)
- ・ウー.C. リー氏 (在福アメリカ領事館首席領事)
- ・松田 浩氏 (アビスパ福岡監督)
- ・平田大一氏 (南島詩人)
- ・逸見明正氏 (九州朝日放送アナウンサー)
- ・中村信喬氏 (人形師)
- ・戸谷弘一氏 (福岡県警察本部 警務部警務課管理官)
- ・石原 進氏 (J R九州 代表取締役社長)
- ・森山良二氏 (福岡レッドワープラズ監督)

## 祭り童子集まれ 楽文コンテスト

受賞者  
総数 **225**人

平成 13 年 5 月より始まった「楽文コンテスト」。毎年 1 回「お祭りに関すること」をテーマに、市内の小中学生を対象に「楽文」の作品を募集しています。ご応募いただいた作品には、山笠をはじめ、どんたく、流れ灌頂、放生会、人形飾り、地域の夏祭り等、多くの「お祭り」をテーマに、お祭りの楽しさ、素晴らしさが生き生きと表現されており、受賞作品を選ぶ審査も、うれしい悲鳴を上げています。

## はかたの町クリーン作戦

開催回数 **16**回

平成 14 年 5 月より始まった、はかたの町クリーン作戦。毎年春と秋の二回開催していますが、雨などにより中止になった事もありましたが、開催時は 100 名近い参加者と一緒に、追山コースを中心に、はかたの町の清掃活動を実施しています。

## 博多祇園山笠追山コース探訪

参加者  
総数 約 **1300**人

平成 14 年 6 月より始まった「追山コース探訪」。毎年 6 月第 1 日曜日に開催。近年では 200 名程度の募集に対して、400 名近い応募があります。NPO 博多の風のメンバーが長法被に袖を通した「語り部」となり、10 のグループに分かれて参加者と一緒に追山コースを回ります。実際に山笠を昇っているメンバーならではのエピソードなどもあり「違う視点で街歩きができた」と好評です。

## 山笠山台製作事業部会

山台ミニチュア  
製作期間 **5**年間

ゼロからのスタートで、試行錯誤しながら山台ミニチュア(1/4スケール)を 5 年間の製作期間をかけて完成。平成 17 年 4 月の第 14 回 NPO 博多の風フォーラムで展示発表ができました。又、昨年末にこれまでの様々な資料を 1 冊にまとめて製本しております。

## 広報事業部会

「風人」発行  
回数 **23**回

平成 15 年 4 月よりホームページを開設し、活動を幅広く告知。さらに同年 10 月からは広報誌「風人」を発行し、会員の皆様へ年 2 回のフォーラムの内容を中心に、詳しい活動内容をお知らせしています。発行は年 3 回で、4 月は前年度の下半期の活動内容、10 月は同年度の上半期の活動内容をまとめたものです。11 月は特別号として、楽文コンテスト入賞作品を掲載したものを発行しています。

## 出版事業部会

書籍発刊 **7**冊

平成 18 年 11 月に NPO 博多の風理事長である大庭宗一のエッセー集「大庭宗一の明日への一言。」を博多の風書房として発刊。以降は約 2 冊 / 年のペースで発刊を続けて、最新は 7 作目となる「大庭宗一の明日への一言。6」。一般の方に対しては全国書店にても購入できるように、各媒体を使って発刊の宣伝告知や紹介、著者のサイン会なども開催しています。

## 2010年3月現在、NPO博多の風を支える皆様

一般会員	<b>716</b> 人	正会員	<b>48</b> 人
特別会員	<b>78</b> 人・法人	今後ともご協力よろしくお願いします。	

# The Ten Years History of NPO HAKATANOKAZE

# NPO博多の風 平成22年度総会 実施

平成22年3月20日（土）

各担当理事及び幹事の出席のもと野中雅治理事の司会で、

一号議案 〈平成21年度事業報告、決算、監査報告〉

二号議案 〈運営部会改編について〉

三号議案 〈平成22年度事業計画、予算審議〉

に関して審議を行い、満場一致の拍手のもとに承認されました。



## ◆NPO博多の風 平成22年度 体制一覧

◎理事長 大庭 宗一

◎副理事長 笠 信一（財務担当）

◎理事 大庭 信雄（イベント統括担当）

因幡 敏幸（山笠コース探訪事業担当）

◎理事 福田 一男（事務総長・特別顧問）

平井 彰（事務局長・楽文コンテスト事業担当）

松本 昭久（企画、出版事業担当）

野田 輝幸（会計、クリーン作戦事業担当）

野中 雅治（総務、広報企画事業担当）

◎監事 村岡 昌哉（フォーラム、山笠山台製作事業担当）

金子 俊明

◎顧問 清田 淳

緒方 照基

◎顧問 倉田 眞

太田 勇之助

大庭宗一の大人気エッセイ

シリーズ第6弾

## 『明日への一言。6』

エッセイスト、ラジオパーソナリティーとして活躍中の大庭宗一氏が贈る『明日を面白く生きる』ための活力エッセイ『明日への一言。6』が21年12月4日に発刊されました。難しい言葉は使わず、当たり前のように思えることも読んで改めて大事だと気付かせてくれるエッセイ集です。心をリセットしたい人や、日々の生活でストレスがたまっている人におすすめの一冊です。みなさまのご要望にお応えして、今回から北は北海道、南は沖縄まで、主要書店でご購入いただくことが可能になりました。

好評  
発売中!



# 探訪

# 博多祇園山笠追山コース

告知

平成22年6月6日(日)開催(予定)

恒例の「追山コース探訪」が今年も6月に開催されます!

当番法被に身を包んだ「おいしゃん」達と追山コースを

回りませんか?昇手ならではの迫力ある解説や山笠の歴史、

裏話など、ここだけの話も飛び出しますよ!



募集案内は、新聞紙上で告知させていただきます。幅広い参加をお待ちしています。



▲世話人 中川原 謙二さん

## NPO博多の風 賛助会員募集のお知らせ

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お知り合いの方をご紹介ください。

●お問合せは「NPO博多の風」広報企画(担当 山口)

URL <http://hakatanokaze.jp> E-mail [info@hakatanokaze.jp](mailto:info@hakatanokaze.jp)  
 FAX 092-263-7188



### 編集後記

久しぶりに、編集を担当させていただきました。2年ぶりの作業でしたが、色々な蓄積があり、以前担当をしていた頃よりも、機能的になっていて、むしろスムーズに制作をすることができました。

私は今、博多を離れて生活しています。「離れた所から博多の町に何ができるか?」という事を色々と考えてみたものの、具体的な行動にまだなかなかできませんでした。今回広報誌を担当させていただき、「広報誌を作る事も、博多の町の為にできる事の一つなのだ」と、改めて気づかされました。博多を離れるとできないと勝手に思っていました。が、やってみればやれない事はない。一人ではできないので、当然協力をもらいながら進めていく事になります。が、話などもができるようになり、そこにいないけど、いるような錯覚さえも勝手に感じるようになりました。

この号が完成する頃に、新しい環境での第一歩を踏み出している人もいらつしやるかもしれません。あまり肩に力を入れずに、やれる事一つづつやっていく事で、みえてくることもあるんだと改めて思う今日この頃です。

中山 肇

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027

福岡市博多区下川端町8-16 -302

FAX 092-263-7188

E-Mail [info@hakatanokaze.jp](mailto:info@hakatanokaze.jp)

URL <http://hakatanokaze.jp>

## NPO博多の風の歩み

### ■設立

平成10年 9月  
任意団体『博多の風』設立 代表：大庭宗一

### ■NPO登記

平成12年 6月  
『NPO博多の風』として登記 理事長：大庭宗一

## NPO博多の風事業概要

### ■啓発事業

- ・博多の風フォーラム開催
- ・広報誌・HP発行
- ・毎日新聞世論フォーラム公聴
- ・作文コンクール（楽文コンテスト）実施

### ■地域環境向上事業

- ・博多の町親交  
（清掃活動クリーン作戦・冷泉小学校跡地提言・山笠文化継承）

### ■活性化事業

- ・書籍出版
- ・博多祇園山笠の振興
- ・山笠コース探訪開催

### ■協力事業

- ・各市民団体との情報交換及び支援

題字：新井光守

